



ひゃくいんむげん

百輪無限

泊小だより3号

令和6年5月31日発行

文責：教頭

運動会の持つ魅力とは・・・

校長 今泉勝徳

先日の運動会は、多少、風が強かったものの、雲一つない晴天で、絶好の運動会日和の中、多くの保護者・御家族の皆様にご来場いただき、子供たちの活躍する姿を見ていただき、感謝しております。また、当日に向けて、保護者の皆様には準備・後片付けにご協力いただいたり、子供たちを励ましてくださったりと、多くの御支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。

さて、無事に運動会を終えて、子どもたちは、どんな思いでいるのでしょうか。私自身、それこそ小学生の頃は、運動はそこそこ出来たほうですが、毎回リレーの選手に選ばれるというわけでもなく、リレーの選考会で落選して、その都度悔しい思いもした運動会でしたが、それでも、運動会自体は、とても大好きでした。「今日も、練習楽しみだな。」「今日も頑張ろう！」そう思いながら、登校した日々を今でもよく覚えています。

子どもたちにとって、運動会は、とても魅力的な行事の一つです。普段は、外遊びより、本を読んだり絵を描いたりすることが好きな子も、運動会に向けた取組や本番当日は、張り切って活動し、楽しんでいる様子が見られます。

そんな運動会の魅力とは、一体何なのでしょう。机に向かう学習は好きではないから…。苦手な勉強より楽しいから…。そういった一面があるのは確かだと思います。しかし、それだけでは、運動会に向けて、「張り切って」活動し、「楽しむ」子どもたちの姿とはなかなか結び付かないのです。

多くの学校の運動会において、短距離走や技能走では、スタートの仕方や走り方のポイントなど、順位だけではない目標をもって練習をしています。団体競技では、どの学年も各色に分かれ、チームごとに作戦を立てて臨みます。競技によっては、上級生が下級生をリードしようという行動が見られ、とても頼もしいですし、運動が得意、不得意など関係なく、どの子も一生懸命に応援もします。「練習中、うまくいかなかったときには、自分やチームが何をできるかを考えて、試してみる。」「成功した時にはみんなで思いっきり喜び合う。」時には、そういう経験が、子どもたちを大きく成長させ、集団としての高まりを生みます。決して数値に表すことはできないのですが、とても価値のあるものであることを、子どもたちは経験から学んでいます。

また、運動会のねらいの一つに、「運動会をみんなで作りあげる過程を通して、集団で学び、活動するよさを味わい、学校生活に楽しさと豊かさを見出すこと」があります。開閉会式や各競技の練習を通して、子どもたちが自分の課題に目を向けて成長しようとする姿、友達と心を合わせて頑張ろうとする姿、下級生の手本になって導こうとする姿にこそ、「運動会」という行事の魅力が表されているのだと考えています。

点を取って素晴らしい、1位だったから頑張ったねという結果だけにとらわれることなく、それまでの過程に思いをはせ、価値を見出し、一緒に汗を流すことができる『運動会』。子どもたちを惹きつけて止まない「運動会」。そんな魅力いっぱいの運動会ですが、子どもたちはどこに魅力を感じていたのか、御家庭で確認しては如何でしょうか？

《5月9日(木) PTA環境奉仕作業》 多数の参加ありがとうございました

今年度も、たくさんの皆様の御協力により、運動会前に校地環境を整えることができました。きれいな環境のもと、運動会に向けて、子どもたちも一層頑張ることができました。ありがとうございました。

《5月18日(土) 小中合同大運動会》

全校が心を一つにして、練習から本番まで一生懸命に取り組みました。運動会練習は雨天続きで思うように練習ができず、本番に間に合うのか心配されました。しかし、ほんの数回の限られた練習に一人一人が集中して取り組んだお陰で、例年通りに仕上げることができました。

当日は晴天に恵まれ、どの子どもも満足そうでした。運動会スローガン「一戦必勝～みんなで全力 勝利をつかめ～」の達成に向け、自分の競技はもちろん、開会式や閉会式、競技中の応援、高学年は係仕事等、すべてに全力で活動する姿に感動しました。この運動会で得た学びを、様々な教育活動に活かしていけると思いました。保護者の皆様、温い御声援ありがとうございました。



開会式



閉会式優勝旗授与(紅組)

高学年団体
コロ・コロガーレ



小中合同競技
ダンシング玉入れ



小中合同競技
追いかけ玉入れ

泊音頭



全校集会 ～校長先生のお話～ Oやさしい聞き方「あいうえお」



「人には、なぜ、耳が2つあるの?」という問いに、一つだとバランスが悪いから・・・等、見た目のお話を話す子どもたち。話し合いが進むにつれ、2年生の男の子が、「よく聞くために2つあるんじゃないかな?」という発言から、講話が始まっていきました。まずは「人の話を聞ける子に育ててほしい」という校長先生の思いが伝わる講話でした。ご家庭でも「聞ける子」を意識して生活させていただいたら嬉しいです。



今年度もスクーカウンセラーとして泊小中学校に派遣された荒谷明久といいます。

お子さんの成長に関わる不安や悩みについて、お話をしてみませんか?どうぞお気軽に相談室にいらしてください。お待ちしております。

6・7月来校日

6/24 (月) 午後13:30～
7/ 1 (月) 午後13:30～
7/11 (木) 午後13:30～

* 悩み相談をしたときには教頭に連絡をください。日時の調整をいたします。